

第53回 構造工学シンポジウム

共催：日本学術会議土木工学・建築学委員会，日本建築学会，土木学会

『構造工学論文集 Vol.53B』の刊行に伴う標記シンポジウムを下記により開催します。今回も『構造工学論文集 Vol.53B』の掲載論文の発表講演と討議をこのシンポジウムで行います。土木学会からも、同時期に『構造工学論文集 Vol.53A』が刊行され、掲載論文の発表講演と討議が同会場の別室で並行開催されます。

建築・土木合同で行う恒例の懇親会も、4月19日(木)の夜に予定しておりますので、多数の方のご参加をお待ちしています。

期日 2007年4月19日(木)～20日(金)
会場 日本学術会議(東京都港区六本木7-22-34
TEL03-3403-1056 学術課)
*地下鉄千代田線「乃木坂」駅下車・日本学術会議側(5番)出口左側徒歩1分

参加費 無料(参加自由)
論文集 『構造工学論文集 Vol.53B』の頒布は、2007年3月下旬刊行、頒価6,000円。『構造工学論文集 CD-ROM Vol.53A』については、(社)土木学会研究事業課(TEL 03-3355-3559)にお問い合わせください。

申込方法 「論文集名・部数・氏名・送付先・電話番号」を明記し、代金と送料(400円/2007年4月20日以降は資料頒布所にて600円)を添えて、下記問合せ先に現金書留にてお申し込みください。なお、シンポジウム会場でも頒布しますが、持込み部数に限りがありますのでできるだけ予約購入ください。

問合せ (社)日本建築学会事務局 研究事業部 酒井
〒108-8414 東京都港区芝5-26-20
TEL 03-3456-2057 FAX 03-3456-2058
E-mail: sakai@aij.or.jp

過去第49・50・51・52回の『構造工学論文集 B(建築)』の在庫がございます。書名を明記のうえ、下記宛に現金書留にてお申し込みください。

頒価6,000円(税込)、送料600円

申込先 〒108-8414 東京都港区芝5-26-20
(社)日本建築学会 資料頒布所
TEL 03-3456-2018 FAX 03-3456-2058
<http://www.aij.or.jp/jpn/publish/publish-menu.htm>

プログラム概要

1. 特別講演会

「性能設計概念に基づいた設計コードの開発：
Code platform ver.1 と基礎構造物等の設計原則」

日時 4月19日(木) 15:15～16:15
会場 日本学術会議 講堂
講師 本城勇介氏(岐阜大学・教授)
司会：中島章典(宇都宮大学/土木学会 構造工学論文
集編集小委員会委員長)

2. 建築・土木合同パネルディスカッション 「土木・建築の構造工学を荷重から眺める」

性能設計の時代を迎えつつある現在、安全性の確保プロセスと並んで荷重論への理解は構造技術者の重要な課題である。ここはまた、建築分野と土木分野で、取組み方に大きな隔たりがみられるところでもある。両分野の専門家により荷重論の現在と、汎用荷重指針のあり方を議論していく。

日時 4月19日(木) 16:15～18:15
会場 日本学術会議 講堂
【出席者】司会：北川徹哉(名古屋大学)
山田 哲(東京工業大学)
挨拶：渡邊史夫(京都大学/日本建築学会 構造工学論
文集編集小委員会主査)

主旨説明：古田 均(関西大学)
パネリスト：佐藤尚次(中央大学)
澤田純男(京都大学防災研究所)
神田 順(東京大学)
高橋 徹(千葉大学)

3. 懇親会

日時 4月19日(木) 18:30～20:30
会場 ホテル はあといん乃木坂(健保会館)
(東京都港区南青山1-24-4 TEL 03-3403-0531)
会費 5,000円を予定(当日受付にてお支払ください)
申込方法 ハガキ、E-mailまたはFAXにて「構造工学シンポジウム懇親会」と表記し、(会員の場合)会員番号・氏名・勤務先・同住所を明記のうえ、3月26日(月)までに所属学会にお申し込みください。

4. 建築部門発表講演プログラム

日時 4月19日(木) 9:15～14:45
20日(金) 9:00～11:45
会場 日本学術会議
・建築部門第1会場：6-A(1)会議室
・建築部門第2会場：6-A(2)会議室
詳細は、下記本会ホームページに掲載します。
<http://news-sv.aij.or.jp/kouzou/s11/>

掲載討議方式実施のお知らせ

『構造工学論文集 B(建築)』では、刊行の趣旨に従って本論文集のさらなる充実と発展をはかるために、Vol.43Bより新しい討議方式を実施しています。会場での討議に加えて書面による討議を実施し、その内容を次年度の論文集に掲載します。これによって、シンポジウムに参加できない読者にも討議の機会が与えられるとともに、討議内容が公表、記録されることとなります。討議実施要領ならびに討議文書様式は、論文集に掲載するほか、シンポジウム会場で配布します。この制度の積極的活用をみなさまにお願い申し上げます。

建築部門発表講演プログラム

4月19日 6階 6 A (1) 室

9:15~10:45 [振動・免震・制震(1)]

司会：真田 靖士（豊橋技術科学大学）

- 1 建築年代構成と地震動の繰り返し応答を考慮した地震動破壊力指標の評価および木造構造物被害関数の作成
村田 晶・北浦 勝・宮島 昌克
- 2 鉛プラグ入り積層ゴムの大変形復元力モデルに関する研究
小槻 淳・山本 祥江・菊地 優・越川 武晃・上田 正生
- 3 強震を受ける剛滑り支承免震建物の応答 - 剛塑性理論に基づく検討 -
日比野 陽・市之瀬 敏勝
- 4 ニューラルネットワーク手法を用いた木造軸組の局部損傷同定に関する研究
具 典淑・鈴木 祥之・欧 進萍
- 5 初期値設定の影響にロバストな動的パラメータ同定
脇田 英治
- 6 振動台実験に基づく鉄筋コンクリート造6層建築物の損傷過程の動特性の評価
森田 高市・松森 泰造

10:45~12:00 [振動・免震・制震(2)]

司会：菊地 優（北海道大学）

- 7 大ストローク振動台の性能評価に関する基礎的研究
貞弘 雅晴・高橋 徹・斉藤 大樹・小豆畑 達哉・野口 和也・箕輪 親宏
- 8 慣性接続要素を利用した線形粘性ダンパーによる一質点構造の最適応答制御とKelvinモデル化手法に関する考察
斉藤 賢二・栗田 哲・井上 範夫
- 9 長時間ランダム振動時の粘弾性ダンパーの特性および正弦波による評価手法
佐藤 大樹・笠井 和彦
- 10 PVDFスマートセンサーの開発と応用技術に関する研究
具 典淑・鈴木 祥之・欧 進萍
- 11 非分散性減衰モデルの動力学
滝澤 春男

13:00~14:45 [コンクリート系構造]

司会：河野 進（京都大学）

- 12 早期にせん断破壊するRC耐震壁の局所せん断力から推察される水平力抵抗機構
真田 靖士・壁谷澤 寿海
- 13 基礎の浮き上がり挙動を許容する付帯フレーム付き連層壁構造の損傷評価に関する研究
坂下 雅信・村上 恭平・河野 進・田中 仁史・渡邊 史夫
- 14 Strut-and-TieモデルとSoftened-TrussモデルによるRC耐震壁の耐力算定
王 激揚・田中 仁史
- 15 波形鋼板ウェブ耐震壁を有するRC架構の耐震性能と鋼板の定着
河野 進・柏井 康彦・市岡 有香子・太田 義弘・渡邊 史夫
- 16 プレキャスト鉄筋コンクリートパネルで構成された門型フレームの構造性能に関する研究
尾崎 純二・倉本 洋・平井 正由・河本 孝紀
- 17 混合より線を緊張材とする圧着型片持ち梁の力学的性状に関する研究
市岡 有香子・河野 進・西山 峰広・渡邊 史夫・荒金 勝
- 18 偏心のあるRC骨組の降伏曲面と地震応答
青野 松雄・市之瀬 敏勝

4月19日 6階 6 A (2) 室

9:15~10:45 [鋼構造・火災(1)]

司会：吉敷 祥一（東京工業大学）

- 19 簡易硬度計による建築鉄骨溶接部の引張強さ推定に関する実験的研究
鈴木 至・中込 忠男・護 雅典・笠原 基弘・服部 和徳・北原 敏希・井上 朋子
- 20 示温塗料によるバス間温度の管理方法に関する研究
鈴木 至・中込 忠男・護 雅典・藤田 哲也・笠原 基弘・服部 和徳・北原 敏希

21 閉断面鋼ビームカラムの耐力と変形能力のデータベース

伊藤 拓海・稲葉 知之・桑村 仁

22 フラッシュエンドプレート形式半剛接合部の回転剛性に及ぼす局所性状の影響評価
市岡 大幸・西楨 毅・大谷 恭弘

23 梁端がピン接合された柱を含む骨組の座屈
城戸 将江・津田 恵吾

24 梁降伏型魚骨形骨組における基準骨組 - 剛接柱脚とピン柱脚の場合 -
柳田 佳伸・半貫 敏夫・秋山 宏

10:45~11:30 [鋼構造・火災(2)]

司会：藤永 隆（神戸大学）

25 わが国と欧州における鋼構造建築物の高温構造耐力評価法の違い - AIJ「鋼構造耐火設計指針」とユーロコード3の比較検討 -
尾崎 文宣・マリオ フォンタナ・若松 孝旺

26 アルミニウムH形ダブルウェブ断面梁のウェブ曲げ継手に関する火災時曲げ耐力実験
石井 久史・平山 寛江子・平島 岳夫・上杉 英樹

27 杉材で被覆したアルミニウム合金部材の火災時における内部温度性状
金城 仁・平山 寛江子・平島 岳夫・遊佐 秀逸・上杉 英樹

13:00~13:45 [空間構造]

司会：武藤 厚（名城大学）

28 地盤との相互作用を考慮した2層立体円筒トラス構造物の地震応答 - 構造物規模および入力地震波の相違による応答の検討 -
馬 天予・崔 宰赫・福住 忠裕

29 ユニット型張力構造物におけるユニット間の応力伝達 - 歪エネルギーの伝播に着目した考察 -
小澤 雄樹・川口 健一

30 体育館・工場など空間構造物の地震リスク評価に関する基礎的研究
中澤 祥二・立道 郁生・嶋 登志夫・加藤 史郎・平野 健太

13:45~14:45 [RCシェル]

司会：中澤 祥二（豊橋技術科学大学）

31 衝撃荷重及び静荷重を受けるシート補強によるコンクリート造円筒殻の破壊形態に基づく振動特性に関する基礎的研究
川崎 健二郎・真下 和彦

32 鉄筋コンクリート造逆傘型HPシェルの変形性状
島岡 俊輔・加藤 史郎

33 繰返し風荷重を受ける鉄筋コンクリート造冷却塔の弾塑性挙動
島岡 俊輔・加藤 史郎・中澤 祥二

34 既存のRC造塔状構造物の耐震性能と補強対策の評価に関する研究 - 劣化した煙突の補強対策検討における非線形解析の応用事例について -
武藤 厚・深津 崇史・前本 尚二

4月20日 6階 6 A (1) 室

9:00~09:45 [構造解析]

司会：高田 毅士（東京大学）

35 立体梁一柱有限要素法による筋かい付鋼骨組の強地震時挙動の解析
門藤 芳樹・森迫 清貴

36 鋼構造立体剛接骨組の過荷重時臨界挙動の解析
村本 真・岩本 圭悟・金尾 伊織・森迫 清貴

37 過載荷重をもつ2スパン3層骨組の層崩壊生成過程に関する実験的研究
太田 充紀・太田 修

9:45~10:45 [構造力学・数値モデル]

司会：金尾 伊織（京都芸工繊維大学）

38 偏心を考慮した連続体モデルによる理論地震動の水平2方向連成応答特性に関する基礎検討
山本 優・源栄 正人・大野 晋

39 既存建物の耐震改修前後のシステム同定と損傷推定
ニウシャ アリ・源栄 正人

40 異種災害の重合を表す確率過程モデルの構築に関する基礎的検討

組谷 彰太郎・高田 毅士

- 41 兵庫県南部地震の被害データを用いた建物補修期間の統計的検討
 諏訪 仁・神田 順

4月20日 6階6A(2)室

9:00~10:15 [木質構造・基礎]

司会：五十田 博(信州大学)

- 42 大気下における接合部を持つ集成材はりのクリープ変形挙動の計算
 五十田 博・北村 俊夫・高橋 茂男・森 拓郎・笹川 明
- 43 摩擦接合型コネクタを用いたスギ集成材と鋼板によるハイブリッド
 部材の軸圧縮特性に関する実験研究 坂田 弘安・松田 和浩・
 中井 敏文・竹内 徹・富本 淳・中村 泰教・永山 浩三
- 44 木質接着パネル耐力壁における合板のせん断座屈挙動に関する研究
 三津橋 歩・梶川 久光・小川 春彦・野口 弘行・・・・
- 45 回転貫入杭のメカニズムに関する室内及び現場実験 楊 惠英・
 荒井 克彦・佐々木 佳宏・半沢 聖峰・町原 秀夫・宮本 重信
- 46 一体解析による杭基礎構造の地震時応力・変形の検討
 井川 望・渡辺 一弘・根本 恒・梅村 美孝・金子 治・高野 公寿

10:15~11:45 [合成構造]

司会：伊藤 拓海(東京大学)

- 47 円形CFT柱の繰返し挙動と単調挙動の比較 藤永 隆・津田 恵吾
- 48 二方向外力を受けるRCS柱梁接合部の力学的性状に関する実験的研究
 馬場 望・西村 泰志
- 49 芯コンクリートを有する鉄筋コンクリート柱の変形特性
 渚 豊一・西村 泰志・佐藤 立美・和田 勉・南 宏一
- 50 2方向偏心圧縮を受ける合成長柱の最大耐力時挙動に関する実験的
 研究 林 和宏・柴田 道生
- 51 横補強鋼管を用いた鋼コンクリート合成柱材の弾塑性変形性状に関
 する実験的研究 堺 純一・河本 裕行・松原 佳毅
- 52 EWECS合成構造システムにおける柱梁接合部の耐震挙動
 FAUZAN・倉本 洋・松井 智哉

部屋割り(建築部門)

会場 日時	講堂ほか会場	第1会場 日本学会会議 6階6A(1)室	第2会場 日本学会会議 6階6A(2)室
4 月 19 日 (木)	9:15 ~ 12:00	振動・免震・制震(1) 振動・免震・制震(2)	真田 靖士 菊地 優 鋼構造・火災(1) 鋼構造・火災(2) 吉敷 祥一 藤永 隆
	13:00 ~ 14:45	コンクリート系構造	河野 進 空間構造 RCシェル 武藤 厚 中澤 祥二
	15:15 ~ 16:15	特別講演会【講堂】	
	16:25 ~ 18:15	建築・土木合同パネルディス カッション【講堂】	
	18:30 ~ 20:30	懇親会 【はあといん乃木坂】	
	4 月 20 日 (金)	9:00 ~ 11:45	構造解析 構造力学・数理モデル 高田 毅士 金尾 伊織